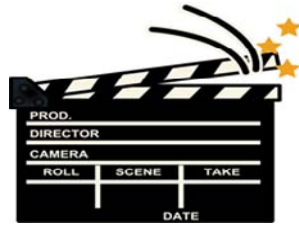


映画会



原爆にちなんだ貴重な館蔵フィルムや2018年の新作映画を上映します。この機会にぜひご来場ください。

開催日

10月26日(土) 申込不要、参加費無料、途中入退室可

会場

立命館大学衣笠キャンパス 充光館地階JK101

10:30-11:00

【館蔵】ドキュメンタリー「もし、この地球を愛するなら」(1982年26分 カラー16mm)
医学的立場から原爆被害を解明することで、自分たちの生きているこの地球を愛するなら、人類の未来を考えるなら、今、何をなすべきかを訴える。アカデミー賞ドキュメンタリー部門、アメリカンフィルムフェスティバル ブルーリボン賞を受賞

監督:テリー・ナッシュ

製作:カナダ国立映画製作所(NFBC) 日本語版 DREAM LIFE CORPORATION

11:00-12:00

【館蔵】ドキュメンタリー「生きていてよかった」(1956年49分 モノクロ35mm)

フィルム提供:日本ドキュメント・フィルム社

反戦映画、記録映画界の巨匠、亀井文夫(1908-1987)監督が描く被爆者映画の金字塔! 平和文化賞、ブルーリボン賞を受賞した名作。

監督:亀井文夫 勅使河原宏 山崎聖教

製作:原水爆禁止日本協議会、日本ドキュメント・フィルム社



(画像提供:共同映画)

13:00-15:00

【館蔵】劇映画「ヒロシマの証人」(1968年120分
モノクロ16mm)

1960年代、原爆症で倒れ亡くなる者が後を絶たない被爆者たちと戦後のヒロシマを描く。

監督:斎藤和彦

製作:「ヒロシマの証人」製作上映実行委員会

15:15-16:30

映画「西から昇った太陽」(2018年75分)

水爆実験に遭遇するという恐ろしい出来事が漁師たちにもたらした苦悩と人生の困難を、当時を体験した第五福竜丸の乗組員3名のインタビューと1000枚を超えるイラストによるストップモーションアニメで再現した。

監督・プロデューサー:キース・レイミンク

